

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会大津市準備委員会  
第2回輸送交通・警備専門委員会 概要

**1 日 時**

令和4年6月27日（月） 14:00～14:40

**2 場 所**

スポーツステーションおおつ 4階 会議室

**3 出席者**

総 数：17名

（委員長1名、副委員長1名、委員15名）

出 席：15名出席、2名委員長委任

（委員長1名、副委員長1名、委員13名、委員長委任2名）

**4 第2回輸送交通・警備専門委員会 概要（14:00～14:40）**

**（1）報告事項**

**第1号報告**

**第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会大津市準備委員会  
輸送交通・警備専門委員会委員の変更について**

**第2号報告**

**大津市開催競技および開催予定施設について**

**第3号報告**

**開催準備経過について**

・第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

**大津市開催推進総合年次計画（年度別業務一覧）の第一次改定について**

上記3点について事務局から報告。質疑なし。

**（2）議事**

**第1号議案**

**第79回国民スポーツ大会大津市輸送・交通実施要項（案）について**

事務局から説明。下記の質疑応答の後、全員賛成で原案どおり可決。

（委員）

開催推進総合年次計画の第1次改定では、計画輸送シミュレーションが後ろ送りとなり、競技会場の輸送第1次調査、第2次調査も令和5、6年となっている。また、輸送計画の策定が調査に変わっていることについて、その理由は。

（事務局）

計画策定は直前にならないとできないことが先催市の調査で分かり、まずは調査という言い方が正しいということで変更した。また、昨年度に三重が中止、その前の鹿児島が延期となり、本大会が2年開催されていないところで直近の資料が不足している。準備段階として

それぞれの県や市町に聞くと計画の作り方がばらばらであり、3年前から調査をして直接行政職員が作る場合もあれば、他に委託する場合もある。それが2年前や、1年前であるため、現段階で計画策定という言葉には程遠いため変更している。

(議長)

補足ではあるが、植樹祭の際の計画台数は140台前後であった。バスを何台か用意してルートの確認等を行っていたので、今後国スポに向けても行う必要がある。13ページの(2)や(3)は、現地へ行き、現場を見ることで気づくことが多々あると思うので、今後現地を見ていく必要がある。

(委員)

全国から国スポ・障スポに参加されることから、遠距離から来る参加者という視点に立った時に一般的には新幹線を使用することになると思う。滋賀県は米原に新幹線の駅があるが、多くは京都を経由して大津に来ることが想定される。参加者を案内するときに他自治体と連携をしていかなければならないのではないかと。輸送・交通実施要項の中で何かしらの反映がされるのか、それともすでに考慮されているのか教えていただきたい。

(事務局)

宿泊・衛生委員会を設けているが、最初に宿泊地を目指して来られる場合が多いと思う。宿泊地でどのような周知ができるか関連してくる。そのようなことも踏まえ、交通に関係することも出てくると思うので、その都度ご協力をお願いさせていただきたい。輸送交通と宿泊・衛生の連携の部分についてはもう一度考えていく。

なお、滋賀県も準備委員会、実行委員会が組織される。大津市だけではなく、県内で同じような時期に多くの競技が同時に開催されることから、県の方針にも従い連携を密にしながら対策をしていきたい。

(議長)

私は県の方でも同じように輸送・交通専門委員会の委員長をさせていただいているが、県は、開閉会式を中心に輸送交通を行っている。特にバスは県内ですべて賄うことはできないので、宿泊地のこともあるが、2府4県あるいは福井、岐阜、三重等に協力を得ながら輸送交通をしていく。先催県の例を見ると、どこも協力をしながらやっているのでもう少し詳細が決まりだしてからの話になると思う。県内だけで全てが収まることはできないので、県外の色々なところの協力を得ながら進めて参りたい。

## 第2号議案

### 第79回国民スポーツ大会大津市消防防災・警備基本計画(案)について

事務局から説明。質疑なく、全員賛成で原案どおり可決。